新刊紹介

町立図書館おすすめ

図書館においてある最新本の中から
おすすめのものをピックアップ。
バラエティに富んだ新刊をご紹介します。

TAKANOSU LIBRARY
町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111

ふしぎなでまえ

かがくい　ひろし　著

じゃがさんとさつまさんが出前をとりました。やってきたのは、少々ふしぎな出前。はたして２人は無事に食べることができるのでしょうか？

SASUE LIBRARY
町立
指江図書館
TEL0996-88-6500

マラソン1年生

たかぎ　なおこ　著

運動苦手な彼女が、ふと目にしたマラソン中継に刺激され、ホノルルマラソンに参加するまでの一年間をまとめています。

Pick Up New publication

長島文芸

Nagashima Bungei
ながしまぶんげい

明神俳句会

針供養柔な豆腐に成佛す　筑前　初市
春光や石積みの町花だんだん　大堂　早苗
女子高に継がれて針の塚祀る　淵脇　護
まなうらにいつも母あり針供養　二階堂妙子
春光に畑のビニール波打てり　中橋　藤七
青空の隅を残してしだれ梅　山嵜加代子
切れ凧を目で追う孫の涙かな　関　佳代美
春光や番いのチャボは放し飼い　迫口　君代

長島短歌会

己が身のつづきに生れし曾孫二人孫子を越へてかかる愛しさ　浜畑　松枝
採り立ての白き大根切るたびに清けきつゆが俎板ぬらす　林　ヒロ
岩端に僅かばかりの土保ち草木は強く根を張りてをり　本田　幸子
駆け寄りて日差しのやうに笑ひ合ふ独り暮らしの友の集ひに　松元　睦子
寒ごもる道路の脇の黄水仙光のごとくあたりを照らす　町田キクエ
白梅の花に目白のさゆる今朝一枝折りて墓前に供ゆ　吉田　映子
三が日風雨に耐へし紅梅は朝の陽をあび輝き垂る　市尾　操
水仙も石蕗も育て「石垣と花の町長島」と立て札のあり　岩下　ち江
尽くされし郷土長島見守るごと建ちたる胸像泰然として　岩下　房代
烏骨鶏の一羽の雛は雪の日に生まれでて鳴く命伝へて　樫平　頼子
安からぬ現世の身過ぎ思ひつつ霧島連山望む山越ゆ　米尾　和子
大正琴共に学びし友逝きて花埋もる胸に楽譜抱きけり　坂之下典子
百年余実りし生家の文旦を遠き日しのびつほほばりて居り　中山タマエ
しらじらと明けそめにけり潟浦の海面は凪ぎて寒気漂ふ　浜田美代子

創生短歌会

刈田より雀の群れが一斉に飛びたちたるが又戻りゆく　竹之内重信
満水のダムに切り立つ崖の嶺一本桜咲き初めにけり　野村　益信
かがまりて少女ふたりが足洗う川流れいてふるさとすがし　宮元　司
物音もしばしば絶えてこもり居るひとりの我を包む夕やみ　村上　義彦
もの忘れひどしと嘆く母なれど子等の住所はすらすらと書く　大塚　洋子
とりとめのなく生命線を眺めおり朝の鏡に化粧を終えて　石原百合子
トラクターの登り降りする幅を取りセメント打てば草の葉が落つ　山下　学

一般作品

俳句
紫木蓮盛りは母の忌にあわせ　笹元　政美
うぐひすの入れ替はり鳴く島の道　桐野　眞実

短歌
朝海べ眺める気持良き事よ魚釣り船走り廻るや　町田　末則
電話あり満洲電の同志にて千葉は習志野時世の夢を　鶯出　成人
看護師のやさしき言葉に涙する此の寒空の雲の下にて　宗方　正喜